



Play by the Rules, Please

ケニア国連大使
マーティン・キマニ

ロシア侵攻に思う、大国の罪と小国の矜持

2月21日、ロシアのプーチン大統領がウクライナ東部の「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」の独立を一方的に承認する大統領令に署名したことを受け、国連安全保障理事会はただちに緊急会合を招集。ロシアを非難する声明が各国から出る中、とりわけ称賛を浴びたのがケニア国連大使のマーティン・キマニ氏による演説だ。アフリカ諸国は、帝国主義列強によって分断された過去とは決別し、国連のルールに従い新たな統合を目指して歩んできたと訴え、常任理事国でありながら国境を恣意的に変更し、侵略戦争に踏み切ろうとするロシアを強く批判した。

**■インタビュー／ファリード・ザカリア**

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル『フォーリン・アフェアーズ』編集長、ニュース週刊誌『ニューズウィーク』の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。

**■ゲスト／マーティン・キマニ**

ケニアの外交官。2020年12月からケニアの国連常駐代表を務める。'22年2月21日、ウクライナ東部の分離独立地域に対するロシアの独立承認宣言を受けて招集された国連安全保障理事会緊急会合での演説がSNS上で広まり、世界的な認知を得る。米ニューハンプシャー大学、英キングス・カレッジ・ロンドン戦争学部で学んだ経歴をもつ。

57 国境線を引き直す代わりに選んだ道

Fareed Zakaria In an extraordinary session of the UN Security Council on Monday, after Russia announced its recognition of the two breakaway regions of Ukraine, most nations played the parts you might expect. The Western nations condemned the decision to greater or lesser degrees. China and also India called for restraint on all sides. But I found the most interesting speech to be from Kenya's envoy to the UN, Martin Kimani.

“Kenya and almost every African country was birthed by the ending of empire. Our borders were not of our own drawing. They were drawn in the distant colonial metropolises of London, Paris, and Lisbon, with no regard for the ancient nations that they cleaved apart. Today, across the border of every single African country live our countrymen, with whom we share deep historical, cultural, and linguistic bonds.

“At independence, had we chosen to pursue states on the basis of ethnic, racial, or religious homo-

extraordinary session:
臨時会議 ▶当該の会合は実際にはemergency sessionであった。
the UN Security Council:
国連安全保障理事会
recognition:
承認
breakaway region:
分離独立地域
condemn:
～を非難する、糾弾する
to a greater or lesser degree:
多かれ少なかれ、大なり小なり
call for:
～を呼び掛ける、求める
restraint:
自制
envoy to the UN:
国連大使

birth:
～を生み出す
empire:
帝国主義、帝政
drawing:
線を引くこと
colonial metropole:
植民地本国、宗主国
with no regard for:
～への配慮なしに、～を無視して
ancient:
古来からの、旧来の
cleave apart:
～を引き裂く、分断する
countryman:
同国人、同胞
linguistic:
言語の、言語上の
pursue:
～を目指す、求める
on the basis of:
～に基づいて
homogeneity:
同質性、同種性

ファリード・ザカリア ロシアがウクライナ国内の2つの分離独立地域の承認を宣言した後、月曜日の国連安全保障理事会の緊急会合で、ほとんどの国が予想通りの役割を果たしました。欧米諸国は程度の差こそあれ、この（ロシアの）決定を非難しました。中国、そしてインドは、関係各国に自制を呼び掛けました。しかし、私が最も興味深く感じたスピーチは、ケニアの国連大使、マーティン・キマニ氏のものでした。

「ケニアをはじめとするほとんど全てのアフリカ諸国は、帝国主義の終焉^{しゅうえん}によって生まれました。われわれの国境線は自ら引いたものではありません。ロンドン、パリ、リスボンといった遠く離れた植民地宗主国で引かれ、その決定には、列強が分断した旧来の国々への配慮はありませんでした。現在、アフリカなどの国境線もその向こうには、歴史的、文化的、言語的に深い絆を共有する同胞が暮らしています。

独立に際して、もしわれわれが民族的、人種的、あるいは宗教的な同質性に基づく国家にこだわる